

応募作品

建築部門

生家を整える ～世代で受継ぎ、温の暮らしへ～



応募者：LOHAS studio デザインチーム

地域交流が深まる住宅 (新規開発分譲地での住まい方)



応募者：半貫 達啓

おうち時間を楽しむ こだわりのモダン住宅



応募者：名主川 千裕

いつもをいつでも、いつまでも、 心地よい暮らしができる家



応募者：グローバルホーム株式会社

加須の家



応募者：萩原 貴

応募作品

アイデア部門



自給自足ができる家

自給自足ができる家

◇太陽光
太陽光発電

◇電気自動車
V2H蓄電

太陽の光・風などの自然を最大限生かすことで住宅での暖房器具や照明の無駄な利用が少なくなる。
-CO₂削減につながり、電気を自給自足する

応募者：田中 美憂

エコリゾートの家

エコリゾートの家

ES02選
◎軒を高くすることで、直射日光を遮り涼やかな冷房稼働を抑制。また、3層リビングに大きな窓を設置し、自然の風を取り入れる。

ES03選
◎太陽光発電や、蓄電池設置。さらに電気自動車も充電施設として活用。夜間時はオール電化によるCO₂削減。外出時は太陽光で充電した電気自動車も活用を促すことにより、CO₂削減。また、災害時には蓄電池に電力を利用可能。

自然と共生
◎軒下空間や、雨waterを水筒貯水として利用し、環境に配慮。

暮らし
◎自然がいかにリゾート気分までES02選を創る家。







応募者：齊藤 勝美

自然エネルギーを電気に変える住宅

自然エネルギーを電気に変える住宅


～太陽光発電とは～
太陽光発電は、シリコン半導体などに光が当たると電気が発生する現象を利用し、太陽の光エネルギーを太陽電池（半導体素子）により直接電気に変換する発電方法です。

つまり
太陽が存在する限り勝手に発電してらるって事ね

太陽光パネルを設置するメリットは？
①光熱費を大幅に削減できること
②使わなかった電気が売電してお小遣いに
③環境に優しい

我々人間が生活していくのに電気は必要不可欠です。消費していくだけではなく環境貢献として太陽光パネルの設置を推奨しております。

日本の主な発電方法は火力発電です。しかし、火力発電は多くのCO₂を排出します。近年問題になっている地球温暖化の原因の一つです。それによって太陽光発電はCO₂排出量が極めて少ないため地球環境に大きく貢献できます。



応募者：田村 拓海

自然と調和する家

自然と調和する家

Point 1) 日本の気候風土に合った木の家の
Point 2) 陽射しや風の通り道を考慮した設計
Point 3) 太陽光を活かす省エネ住宅

高温多湿 断熱性
地震 安全性
四季 健康に良い
日本 = 木造住宅

木材にはほごもこんな効果がい！
◎目にやさしい ◎音をまろやかに
◎健康に良い ◎リラックス

高気密・高断熱設計
◎外からの熱を遮断
◎室内の暖かさ、涼しさを逃さない
◎窓・ドア・欄干・吹抜け

◎風の通り道の確保
◎季節を感じられる設計

電気代上昇の影響を受けづらい
CO₂削減に寄与
災害時安心
環境にも良い太陽光発電！

761.12
42.34



応募者：酒井 ありさ

深い軒で快適に暮らす

深い軒で快適に暮らす

昔の家は深い軒を取り入れていた

深い軒のメリット

- ・直射日光を遮ることができ室内の温度が上がりにくい
⇒冷房代が安くエコへ繋がります
- ・軒によって雨風や紫外線から守られている
⇒外壁は健康な状態を長年に渡って維持することができる
床や家具も日焼けしにくい
メンテナンス費用をカット
- ・軒下空間を楽しもう！
雨の日でも洗濯物を干すことやデッキで遊ぶことが可能に！
軒を上手く活用し快適な暮らしを実現することができます！





応募者：河端 麻由

人と住環境

人と住環境

【風のデザイン】
Spring & Autumn
Summer & Winter

【光のデザイン】
【動線のデザイン】
【親子の空間】








応募者：中村 圭汰

応募作品

環境にも心にも優しい 緑を取り入れた暮らし

環境にも心にも優しい 緑を取り入れた暮らし



室内のカーテンだけではなく、外からも日差しを遮ることで室内の温度上昇をさらに抑えることができます。住宅に緑を取り入れ、心地よい日陰を作り、涼しい自然の風を室内に取り込みましょう。

なぜ植物が涼しくしてくれるの？
植物は体全体に水分を行きわたらせているので、その間を空気が通ることで涼しい風が作られます。



グリーンカーテン

ツル科の植物をカーテンのように覆い、日光を遮り、紫外線を反射させることで、何もしていない部屋よりもエアコンの消費電力をおさえるという省エネ効果があります。グリーンカーテンでよく使われるゴーヤやアサガオは、普段植物を育てていない人にも育てやすい植物です。



二酸化炭素の削減やヒートアイランド対策など、地球環境にとっていいことばかりだけでなく、室内でも緑を楽しむことがおうち時間の充実にも繋がります。住まう人の心もリフレッシュできます。手軽にできる方法で緑を取り入れていきましょう。

応募者：岡本 七世

電気の自給自足を常識に

電気の自給自足を常識に



太陽光パネルで「自家発電」
これからの時代は電気は買わない、つくるもの



家と車の共生
ガソリン車とお別れ



日中の電気代をゼロに
時代はZEH

応募者：株式会社アキュラホーム埼玉西 木村哲也

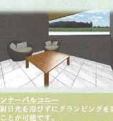
中と外をつなぐ家

中と外をつなぐ家

回廊性の高い開け取りと、内外をつなげる空間を意識しプランニングしています。四季を感じながら、夏は涼しく、冬は暖かく年中過ごることができる住まいです。

夏を涼しくする設計

開口部を広く取り、自然の風を取り込み、夏を涼しくする設計。



応募者：黒沢 悠

環境にも、家計にも優しい、 大空間・大開口の家

【部屋のどこにいても暖かい・涼しい 大空間の家】

人のシステムの家造りでは、平屋でも暖かい快適な暮らしを実現。新築住宅の「暖かい・涼しい」を実現。大空間でも、エアコン稼働と日射量等の調節が容易にでき、快適な空間でありながら、大空間・大開口の家を実現。それぞれのアクセントが提供される建物です。



※まだ太陽光の備にはメリットが期待できます。

①電気代の値上げの影響を受けにくい

②の電でも電気代が安くなる

③あっても買い取ってでもらった電力で家計に負担可

(余剰買取制度)

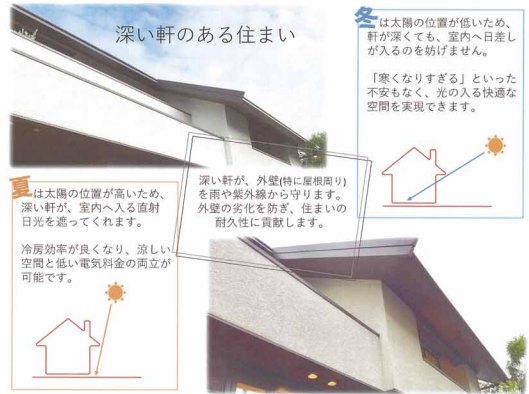
【太陽光 全棟標準搭載】



応募者：株式会社アキュラホーム埼玉 埼玉北支店 本庄営業所 下田真己

深い軒のある住まい

深い軒のある住まい



冬は太陽の位置が低いため、軒が深くても、室内へ日差しが入るのを防げません。

「寒くなりすぎる」といった不安もなく、光の入る快適な空間を実現できます。

深い軒が、外壁(特に屋根周り)を雨や紫外線から守ります。外壁の劣化を防ぎ、住まいの耐久性に貢献します。

冷房効率が良くなり、涼しい空間と低い電気料金の両立が可能です。

応募者：高橋 知里

【Co2削減】 ～環境未来を先取りした 平屋の住まい～

【Co2削減】 ～環境未来を先取りした 平屋の住まい～

【Co2削減】
～環境未来を先取りした 平屋の住まい～
南面の立地を活かし、太陽光発電を目標。搭載。持続可能なCo2削減を目指した住まいのご提案です。



⇒「2050年カーボンニュートラル宣言」

2050年までに、脱炭素社会を実現して温暖化抑制の排出量をゼロにする取り組み

⇒V2H "Vehicle to Home" 稼働型V2Hシステム(CO2削減)

V2H (Vehicle to Home) とは?

クルマ「Vehicle」から家「Home」へを意味する

電気自動車に蓄めた電力を家庭内で有効活用する考え方のこと

⇒太陽光発電稼働にてエネルギーコスト削減・CO2削減

南面の立地を活かし、太陽光発電の効果を最大化。太陽光発電を目標。

自然の恵みである太陽光を最大限に活用。軒を出す事で日射角を調整して変化する太陽の高度を考慮。

季節の差を最大限に活用。省エネを実現。太陽光発電システム(CO2削減)。

コンセプト：「自分のお家であらゆる自立が叶う」

強行策は、電気やガスに依存しない快適な暮らしを実現。省エネを実現。太陽光発電システム(CO2削減)。

生活に必要なエネルギーの全てを自給自足。

平屋の立地を活かし、太陽光発電を目標。搭載。持続可能なCo2削減を目指した住まいのご提案です。

【カーボンニュートラル住宅】とは?

「太陽光発電」を採用しエネルギーコストだけでなく、V2Hを活用し、温室効果ガスの排出量をゼロにする家。

脱炭素社会の実現に大きく貢献する住宅です。

「1st FLOOR」

carbon neutral

応募者：寺島 智也